

(産経新聞)

平成22年11月5日(金)
朝刊

メタボ健診案内 誤送付

門真市、受診資格ない70人に

門真市は4日、国民健康保険に加入する40〜74歳が来年2月まで無料で受診できる「特定健診」(メタボ健診)について、受診資格のない市民計770人に受診案内のはがきを誤送付し

たと発表した。

市保険年金課によると、10月28日時点で未受診だった計1万5709人にはがきを発送した。しかし今月2日、市民からの指摘で、うち770人が75歳に達し

たり、生活保護受給者となったりして受診資格を失っていたことがわかった。4日におわび文を郵送したという。

同課はミスの原因について「課員が資格を失った人のデータの削除処理ができていないのに、処理済みと勘違いした」と説明。「チェック態勢を強化し、再発防止に努める」としている。

(読売新聞)

特定健診勧奨はがき 門真市70人分誤送付

門真市は4日、メタボリックシンドロームの予防などを目的とする「特定健診」の受診を勧めるはがきを、検診対象外の770人に誤って送付したと発表した。資格を失った人をデータから除外する作業ができていなかったため、市は同日、おわび文を送った。

市によると、特定健診は今年6月〜来年2月、40〜74歳の国民健康保険加入者を対象に実施。しかし、10月28日に市が発送した受診勧奨はがき約1万5000人分には、75歳に到達した人や国保資格を喪失した770人分が含まれていた。今月2日に市民からの問い合わせでわかったという。市は「チェック体制を強化し、再発防止に努めたい」としている。